

令和 7 年度 山形市郷土館運営協議会

日 時 令和 7 年 7 月 1 5 日 (火)
午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 0 0 分
会 場 山形市役所 11 階 入札室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 自己紹介

4 会長及び副会長の選出

5 会長あいさつ

6 報 告

- ・令和 6 年度山形市郷土館事業報告について (資料 1)

7 協 議

- ・令和 7 年度山形市郷土館事業計画(案)について (資料 2)

8 そ の 他

9 閉 会

山形市郷土館運営協議会委員名簿

任期：令和7年4月1日から令和9年3月31日まで

氏 名	職 業 等	備考
おばた けいすけ 小幡 圭祐	山形大学人文社会科学部 准教授	
さだひろ みつあき 貞弘 光章	山形市立病院済生館 病院事業管理者	
さとう こと 佐藤 琴	山形大学学士課程基盤教育院教授	
さとう みよこ 佐藤 美代子	山形市立西山形小学校教頭	
しむら なおよし 志村 直愛	東北芸術工科大学 芸術学部 歴史遺産学科 教授	
すがい めぐみ 須貝 恵美	山形市観光ボランティアガイド協会 運営委員	
ふなやま かずひこ 舟山 和彦	山形県立博物館 館長	
やまのうち はげむ 山内 励	東海山形学園 副理事長	

(五十音順)

事務局名簿

文化スポーツ部長	松沢 聖
次長（兼）文化創造都市課長	後藤 好邦
課長補佐	齋藤 仁
課長補佐（兼）文化財係長	須藤 英之
主事	瀬尾 結希
地域おこし協力隊	伊藤 なつみ
郷土館職員	小関 広明

令和6年度 山形市郷土館事業報告

資料 1

1 入館者数（参考資料 1 参照）

令和6年度	令和5年度	前年比
42,653 ^人	39,627 ^人	+3,026 ^人 (+7%)

令和6年度の年間入館者数は、前年度に比べ7%増となる42,653人となった。
 コロナ前の入館状況を越え、10月から3月までは月ごとの入館者数が過去最高を記録、年間入館者数も令和元年度41,676人を超えて、過去最多の入館者数となった。

2 展示事業（参考資料 3 参照）

(1) 常設展示

- ア 建造物としての国指定重要文化財「旧済生館本館」の魅力の紹介
 - ・「旧済生館本館」移築復原工事に関する資料の展示（2階講堂）
 - ・3・4階（通常非公開）の写真パネルによる展示紹介（1階ロビー）
- イ 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史
 - ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第8室）
 - ・ローレツ博士の遺品（第2室）
 - ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第3室・第4室）
- ウ 山形市の歴史に関する資料の展示
 - ・江戸～明治期の地図や行政関係文書などの資料（第1室、1階ロビー）
 - ・山形城出土の鬼瓦や屋根瓦などの展示（1階ロビー）
- エ 東洋医学・西洋医学の歴史
 - ・西洋医学・東洋医学に関する資料・医療機器の展示（第5室・第6室）

(2) 企画展示

- ア 「令和6年度 山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展」
 ～「三層楼」今昔物語～
 令和5年度に郷土館及び郷土資料収蔵所で寄贈を受けた資料を展示し、新たに寄贈を受けた資料の周知及び活用を図った。8月27日にギャラリートークを開催した。
 開催期間：令和6年7月20日（土）～9月1日（日）
 展示物：重要文化財指定書1点、復元資料・設計図・仕様書などの資料23点、壁トンボ・基礎石材などの部材73点
 開催期間中の入館者数：4,578人
- イ 「令和6年度 山形市郷土館秋季企画展」
 ～みんな大好き！五堰のひみつ～
 令和5年に「世界かんがい施設遺産」に登録され、注目を集める山形五堰について学ぶことができる展示を行った。子どもも楽しめるように、やさしい表現を用いた解説文にしたり、初めての試みとしてパネルの解説文に英文・中文の文章を併記した。10月19日にギャラリートークを開催した。

開催期間：令和6年10月5日（土）～11月10日（日）
開催期間中の入館者数：6,646人

ウ 「令和6年度 山形市郷土館冬季企画展」

～郷土館の収蔵古書たち～

郷土館が所蔵する古書を中国文化、日本文化、医学書の三つに分類し、その中から「論語」「百人一首」など、教科書などで触れる機会がある有名な書物を中心に展示を行った。12月14日にギャラリートークを開催した。

開催期間：令和6年12月14日（土）～令和7年1月19日（日）
開催期間中の入館者数 1,692人

エ 「令和6年度 山形市郷土館文化財成果展」

令和5・6年度の山形城跡発掘調査成果や、新指定文化財を中心に、山形市の文化財に関する成果のパネル展示を行った。

開催期間：令和7年2月8日（土）～3月9日（日）

主な展示物：・令和5・6年度山形城跡発掘調査の成果パネル
・発掘成果物
・令和5・6年度に新たに指定された市指定文化財「山寺立石寺奥之院の大灯籠」「木造釈迦如来坐像」「木造聖観音菩薩立像」「勝因寺山門二階格天井（書画）」紹介パネル

開催期間中の入館者数：2,938人

3 普及事業

(1) 「郷土館だより」の発行

令和7年3月に第99号を発行（800部印刷）

ア 掲載内容

- ・寄稿文『山形アーカイブと「ななはく！」の楽しみ方』
（山形大学学士課程基盤教育院 教授 山形大学附属博物館
学芸研究員 佐藤 琴 氏）
- ・「木造釈迦如来坐像」「木造聖観音菩薩立像」「勝因寺山門二階格天井（書画）」の山形市指定文化財への指定について
- ・地域おこし協力隊について
- ・令和6年度 郷土館の事業等紹介
- ・令和7年度 郷土館の事業予定等紹介

イ 送付者（令和6年度実績） 451部

内訳 博物館	85部（85ヶ所）
医療関係機関	42部（42ヶ所）
行政機関（市町村教委）	34部（34ヶ所）
行政機関（山形市）	140部（87ヶ所）
その他（その他団体等）	54部（46ヶ所）
個人（寄贈者等）	96部（96ヶ所）

※残り約350部を郷土館、文化創造都市課等で配付
平成18年度より最新号をホームページにおいても公開している。

(2) 「郷土館ナイトミュージアム」の開催

通常 16 時 30 分の閉館時間を 3 時間延長して 19 時 30 分まで開館し「旧済生館本館」3・4 階の灯りを点けて、来館者が闇夜に浮かび上がる普段と異なる雰囲気「旧済生館本館」の魅力を PR するとともに、館内展示を見学できる機会として開催した。(春・夏・秋・冬の四季にあわせて開催)

開催日時：第 1 回 4 月 6 日(土) 47 人 4 月 7 日(日) 46 人
4 月 13 日(土) 321 人 4 月 14 日(日) 168 人
第 2 回 8 月 30 日(金) 21 人
第 3 回 11 月 1 日(金・祝) 59 人
第 4 回 2 月 9 日(金) 55 人

計 717 人

開催時間：午後 4 時 30 分～7 時 30 分

申し込み：不要

(3) 「旧済生館本館」3・4 階特別公開の開催

通常非公開の 3・4 階を特別公開することで、より多くの来館者に「旧済生館本館」の魅力を伝える機会として開催した。

開催日時：第 1 回 6 月 29 日(土) 10:30～12:00 (有識者解説あり)
第 2 回 7 月 27 日(土) 11:00～・13:15～ (解説なし)
第 3 回 10 月 26 日(土) 10:30～12:00 (有識者解説あり)
第 4 回 11 月 30 日(土) 11:00～・13:15～ (解説なし)
※有識者：小形利彦氏(元郷土館運営協議会委員)

申込：要申込

参加者数：第 1 回 20 人 第 2 回 11 人 第 3 回 20 人 第 4 回 16 人

合計 67 人

(4) デジタルアーカイブの公開

山形大学附属博物館が中核館となる「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、事業の一環として、郷土館収蔵資料の一部をデジタルアーカイブ化して公開している。

○写真 377 点 ○地図 9 点 ○絵葉書 12 点 ○文書 38 点
○絵画 11 点 ○その他 5 点 合計 452 点

山形アーカイブ URL

<https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/>



(5) 団体等の見学への対応

下表の団体客の見学申し込みを受け入れた。

団体入館者数

	令和 6 年度	令和 5 年度
団体数	115 団体	102 団体
見学者数	3, 296 人	2, 624 人

主な見学団体：旅行会社によるツアーなどの一般（79団体 1, 770人）
大学生（8団体 126人） 高校生（ 6団体 71人）
中学生（5団体 300人） 小学生（17団体 1, 029人）

(6) 広報活動

市公式ホームページ、市公式フェイスブック、市公式 LINE 及び広報やまがたでの事業の周知活動に加え、山形市郷土館の独自 Facebook・Instagram のアカウントを開設し、企画展、3・4 階特別公開、季節ごとの風景、所蔵する資料などについて 156 件の情報発信を行った。

(7) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

テレビ番組や雑誌の撮影・取材に協力し、メディアを通じた P R を行った。

掲載等許可件数

	令和 6 年度	令和 5 年度
掲載許可	23 件	14 件
放送許可	4 件	4 件
所蔵資料閲覧件数	0 件	0 件
所蔵資料貸出件数	0 件	2 件

主な内容：BS フジのテレビ番組「ニッポン美景めぐり」、
書籍「まっふる東北 “26”」、書籍「まっふる山形 “26”」
JTB パブリッシング発行「ココミル山形」など。

4 施設の維持管理

- (1) 郷土館内外の保全及び事故等の防止を目的として、開館中における巡回点検を行った。
- (2) 火災報知器等防火設備の整備・点検（8月・2月）を実施
- (3) 消防訓練（5月・10月・1月）を実施した。1月の文化財防火デーに合わせた訓練においては、消防本部と連携し、放水などのデモンストレーションを行い、マスコミなどを通じて広く文化財の防火についての啓発を行った。
- (4) 館内外の清掃の徹底並びに庭の美観の維持や樹木等の剪定（9月）と雪囲い（11月）を実施。
- (5) 建物施設のこん虫等防除（8月）を実施

5 その他

- (1) 三層楼ライトアップ（18 時～22 時まで。ただし冬季は日没時より。）
- (2) 来館者へのサービス
 - ・敷地内植物から採取した花の種の配布
 - ・手作り 葉^{しおり}の配布
- (3) 開館時間臨時延長（霞城観桜会（4/6～4/7）、花笠まつり（8/5～8/7）期間）
- (4) 来館者アンケート実施（結果は参考資料 4 を参照）

令和 7 年度 山形市郷土館事業計画（案）

1 運営方針

- （1）明治初期の擬洋風建築の傑作といわれる、国指定重要文化財「旧済生館本館」の適切な保存と適切な活用を図る。
- （2）郷土の医学や歴史に関する資料を保存・展示する施設としての適切な維持管理及び資料の活用を行う。
- （3）常に来館者を意識した事業及び日常業務を行い、市民、観光客ともに親しみや興味を持ってもらえる、山形市の郷土の魅力を発信できる施設を目指す。
- （4）山形県立博物館など関係施設との連携等により施設としての魅力向上に努める。

2 展示事業

（1）常設展示

ア 建造物としての「旧済生館本館」の魅力の紹介

これまで第 7 室に展示していた「旧済生館本館」移築復元工事に関する資料を 2 階講堂に移設し、建物の魅力を紹介する【変更】。

イ 済生館が山形市の医療及び保健衛生の向上に果たした歴史

- ・江戸～明治時代にかけての医学関係資料・医療機器（第 8 室）
- ・ローレツ博士の遺品（第 2 室）
- ・郷土出身の医療関係者に関する資料（第 3 室・第 4 室）

ウ 山形市の歴史に関する資料の展示

- ・江戸～明治期の地図や行政関係文書などの資料（第 1 室、1 階ロビー）
- ・企画展示を行っていない時期に、郷土関連資料を展示予定（第 7 室）

エ 東洋医学・西洋医学の歴史

- ・西洋医学・東洋医学に関する資料・医療機器の展示（第 5 室・第 6 室）

（2）企画展示

企画展示の開催期間中に、地域おこし協力隊の隊員によるギャラリートークを令和 6 年度から引き続き実施する。ギャラリートークは展示の企画意図や内容、見どころなどを解説するもので、来館者の資料への理解を深める。

ア 山形市郷土館 新収蔵品展（参考資料 5 参照）

令和 6 年度に郷土館で新たに寄贈を受けた資料を新規資料として活用及び周知を図る。

なお、令和 6 年度に郷土館へご寄贈いただいた資料は次のとおり。

- ・駕籠 1 挺
- ・検眼レンズキャビネット 1 台、ライト付き視力検査機器 1 個、眼鏡店関係書類 1 式

・鎖かたびら1着、薬品調合用さじ1本、すずり1石、和書「方機」1冊、和書「師傅特歩集」1冊、陣笠1蓋、看板2枚、医療関係文書1式、竿秤1個、酒酒特様1巻

開催期間：令和7年7月19日（土）～8月31日（日）（予定）

ギャラリートーク：7月26日（土）（予定）

イ 山形市郷土館 秋季企画展

（仮称）「生命の息吹 山形市の自然」

山形市内の天然記念物・動植物等を紹介し、文化の基盤となる郷土の自然と風土への理解と認識を促す。

開催期間：令和7年10月4日（土）～11月16日（日）（予定）

ギャラリートーク：10月25日開催（予定）

ウ 山形市郷土館 冬季企画展

郷土館所蔵品の中から、市民等に見てもらいたい品を選んで展示

開催期間：令和7年12月3日（水）～令和8年1月12日（月）（予定）

ギャラリートーク：12月開催（予定）

エ 山形市文化財成果展

令和6年度に山形市内で行なわれた発掘調査成果や、新指定文化財及び文化財の活用等について、写真及びパネルによる紹介を行ない、山形市内の文化財について普及・啓発を図る。

開催期間：令和8年2月8日（日）～3月8日（日）（予定）

ギャラリートーク：2月開催（予定）

3 普及事業

（1）「郷土館だより」の発行

寄稿文や新指定文化財の掲載等を予定し、令和8年3月発行予定。

（2）「郷土館ナイトミュージアム」の開催

通常16時30分の閉館時間を3時間30分延長して20時00分まで開館し「旧済生館本館」の3・4階の灯りを点けて、来館者が闇夜に浮かび上がる普段と異なる雰囲気「旧済生館本館」の魅力をPRするとともに、館内展示を見学できる機会とする。（春・夏・秋・冬の四季にあわせて開催予定）

なお、秋季（10月開催）は、山形県立博物館と日時を併せて開催予定。

（3）3・4階特別公開の開催（有識者解説ありを2回、解説なしを2回開催予定）

開催日時：第1回 6月28日（土）10:30～（有識者解説あり）

第2回 9月開催予定（解説なし）

第3回 10月開催予定（解説あり）

第4回 11月開催予定（解説なし）

※有識者：小形利彦氏（元郷土館運営協議会委員）

(4) デジタルアーカイブの作成

山形大学附属博物館が中核館となる「山形アーカイブ実行委員会」に参加し、本館建造物及び収蔵資料の一部のデジタルアーカイブの作成を行う。

予定している内容：「旧済生館本館」解体調査工事資料記録写真集等

(5) 団体等の見学への対応

旅行会社によるツアー、小・中学校等の団体客の受け入れに努める。

(6) 広報活動

市公式ホームページ、市公式フェイスブック、市公式LINE 及び広報やまがたでの事業の周知活動に加え、山形市郷土館の独自 Facebook・Instagram のアカウントで、企画展、3・4階特別公開、季節ごとの風景、所蔵する資料などについて情報発信する。

(7) 郷土館の撮影・取材及び掲載への協力

テレビ番組や雑誌の撮影・取材に協力し、メディアを通じたPRを行っていく。

(8) 市公式 YouTube への動画の公開

通常非公開の3・4階の様子などを動画で撮影し、公開する。

(9) VR で郷土館3・4階のバーチャル見学を8月頃から月1回ペースで実施【新規】

4 施設の維持管理

(1) 郷土館内外の保全及び事故等の防止を図るため、開館中の巡回点検の実施

(2) 火災報知器等の防火設備の整備・点検（8月・2月）を実施

(3) 消防訓練（5月・10月・1月）の実施。1月の文化財防火デーに合わせた訓練においては、消防本部と連携し、放水などのデモンストレーションを行い、マスコミなどを通じて広く文化財の防火についての啓発を行う。

(4) 館内外の清掃を徹底するとともに、庭の美観を維持するため、樹木の選定（夏季）と雪囲い（冬季）を実施

(5) 建物のこん虫等防除（7月）を実施

5 その他

(1) 三層楼ライトアップ（18時～22時まで。ただし冬季は日没時より。）

(2) 来館者へのサービス

- ・敷地内植物から採取した花の種の配布
- ・手作りの葉の配布

(3) 開館時間臨時延長（霞城観桜会（4/12～4/13）、花笠まつり（8/5～8/7）の期間に依頼があり対応を予定）

(4) 来館者アンケート実施（9月予定）

(5) 来館者出身地の地図アンケート実施（来館時に世界地図及び日本地図にシールを貼ってもらう）

郷土館入館者数の推移

参考資料1

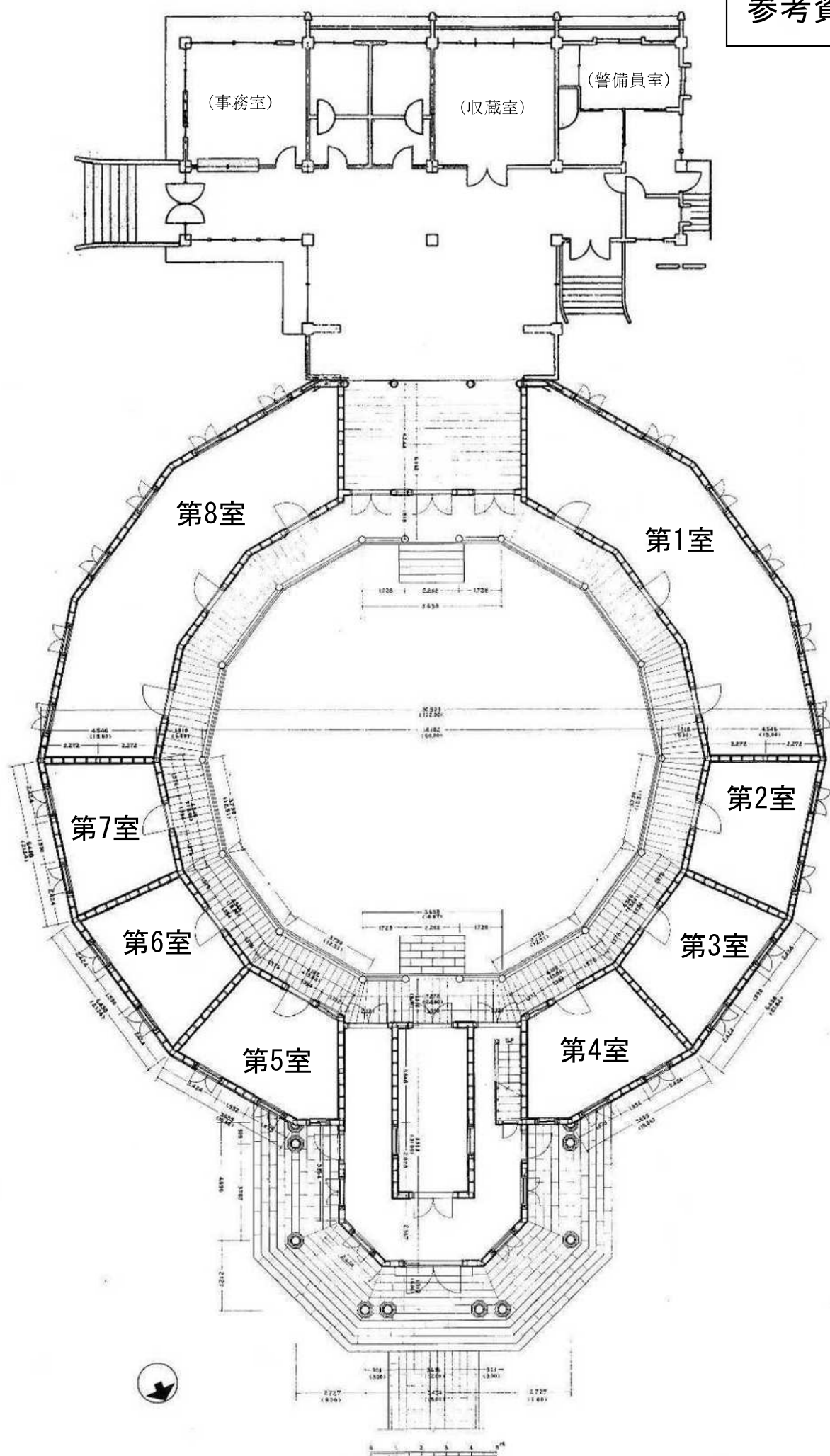
年度	有料入館者数(人)		減免入館者数(人)			総計(人)	入館料(円)
	大人	小人	大人	小人	土曜小人		
平成13年度	9,804	1,196	1,508	894	573	13,930	2,039,550
平成14年度	5,747	829	4,290	1,155	278	12,299	1,204,920
平成15年度	8,831	893	552	783	396	11,455	1,802,990
平成16年度	9,832	977	496	1,096	375	12,776	2,016,640
平成17年度	8,917	677	712	1,171	227	11,704	1,811,380
平成18年度	8,815	596	1,186	1,123	219	11,939	1,806,900
平成19年度	9,292	619	745	1,090	249	11,995	1,900,900
平成20年度	8,530	911	688	1,179	276	11,584	1,777,780
平成21年度	—	—	—	—	—	25,509	—
平成22年度	—	—	—	—	—	26,269	—
平成23年度	—	—	—	—	—	22,939	—
平成24年度	—	—	—	—	—	25,687	—
平成25年度	—	—	—	—	—	23,303	—
平成26年度	—	—	—	—	—	28,420	—
平成27年度	—	—	—	—	—	25,758	—
平成28年度	—	—	—	—	—	26,511	—
平成29年度	—	—	—	—	—	28,980	—
平成30年度	—	—	—	—	—	32,286	—
令和元年度	—	—	—	—	—	41,676	—
令和2年度	—	—	—	—	—	15,882	—
令和3年度	—	—	—	—	—	20,554	—
令和4年度	—	—	—	—	—	32,202	—
令和5年度	—	—	—	—	—	39,627	—
令和6年度	—	—	—	—	—	42,653	—

- 備考：① 入館料：平成21年度4月より全面無料化
- ② 休館日：平成21年度より年末年始（12/29～1/3）のみとした。
- ③ 平成14年度は、保存修復事業により、一部展示室を閉鎖したため、6月～8月まで入館料を無料にした。
- ④ 平成18年度は、廻廊床面塗替えのため、9月5日～16日まで入館料を無料とした。
- ⑤ 平成22年度は、東日本大震災の影響のため、平成23年3月12・13・16～31日まで臨時休館とした。
- ⑥ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、4月1日～5月17日まで臨時休館とした。

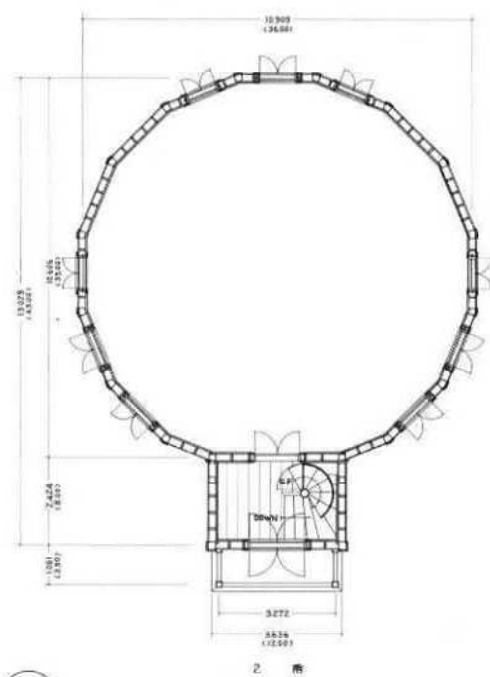
月別入館者数

	6 年度	5 年度	前年比	4 年度	3 年度	2 年度	元年度
4月	6,923	5,568	1.24	4,173	1,986	7	7,774
5月	4,033	3,466	1.16	3,300	1,591	152	4,938
6月	3,448	2,550	1.35	2,029	1,358	692	3,526
7月	2,817	2,345	1.20	2,026	1,624	1,237	3,092
8月	3,521	3,427	1.03	2,728	1,641	1,352	4,192
9月	3,261	3,182	1.02	2,703	1,674	2,082	3,486
10月	5,153	4,162	1.24	3,703	2,478	2,800	3,929
11月	4,530	4,397	1.03	3,864	3,365	3,679	3,626
12月	1,568	2,026	0.77	1,423	1,279	1,139	1,525
1月	1,578	1,718	0.92	972	784	370	1,602
2月	2,342	3,137	0.75	1,787	1,116	846	1,918
3月	3,479	3,649	0.95	3,494	1,658	1,526	2,068
計	42,653	39,627	1.08	32,202	20,554	15,882	41,676

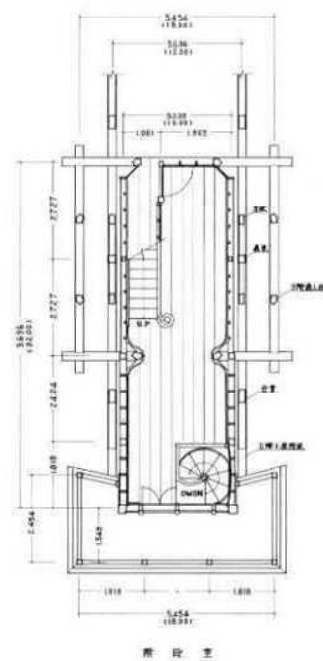
※令和2年度は4月1日～5月17日まで臨時休館



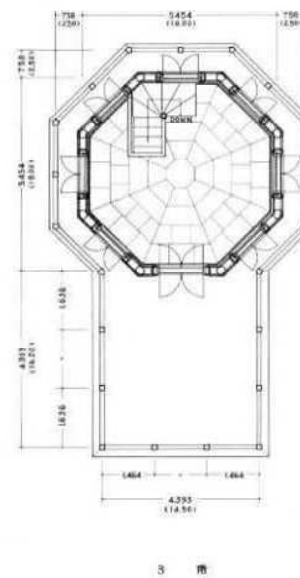
【2階】



【3階】



【4階】



令和7年度 山形市郷土館アンケート調査

参考資料 4

A 来館者へのアンケート

1 実施日

- 日時：令和6年4月6日（土）午後16時30分～19時30分
- 日時：令和6年4月7日（日）午後16時30分～19時30分
- 日時：令和6年4月14日（日）午後16時30分～19時30分
- 日時：令和6年8月30日（金）午後16時30分～19時30分
- 日時：令和6年11月1日（金）午後16時30分～19時30分

2 アンケート回答数

164件

3 アンケート結果

(1)入館者の居住地

項目	山形市内	山形県内	山形県外	日本国外	未記入	計
計	104	21	21	4	14	164
割合	63.4%	12.8%	12.8%	2.4%	19.4%	100.0%

・来館者の約63%が県内から来館している。

(2)入館者の年齢

項目	10歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	未記入	計
計	14	23	16	39	28	35	8	1	0	164
割合	8.5%	14.0%	9.8%	23.8%	17.1%	21.3%	4.9%	0.6%	0.0%	100.0%

・40代から60代で来館者の62%を占めている。

(3)見学会開催を知った手段（複数回答可）

項目	計	割合
市 報	25	16.4%
H P、F B	23	15.1%
来館	68	44.7%
知 人	12	7.9%
その他	24	15.8%
計	152	100.0%

【その他】

- ・テレビ・ニュース・Google
- ・霞城公園内のポスター
- ・夕方のニュース、テレビの情報番組
- ・職場
- ・10/26の見学会で聞いて
- ・山形市役所内に掲示してあるチラシ

(4)企画内容の評価

項目	計	割合
大変良かった	80	48.8%
良かった	63	38.4%
普通	2	1.2%
良くなかった	0	0.0%
無回答	19	11.6%
計	164	100.0%

(5)見学会の時間設定

項目	計	割合
良かった	104	63.4%
普通	35	21.3%
短かった	4	2.4%
長かった	1	0.6%
無回答	20	12.2%
計	164	100.0%

(6)意見・感想

①建物について

- ・ステンドグラスをカメラアングル内におさめると、すごく写真映えがする。
- ・貴重な建物などを見学させていただきありがとうございました。
- ・長年山形に住んでいますが、初めて拝見しました。素晴らしい建物で感動しました。まだまだ知らない方もたくさんいると思うので、もっと周知されれば良いと思いました。
- ・とても貴重な文化財だと思いました。美しさは時を経ても不変ですね。

- ・是非、後世に残したい建物と資料でした。ありがとうございました。
- ・建物がこんなにステキだと知らずに入った。中庭もあり、星や月が見えて子供たちも喜んでいた。また来てみたいです。
- ・最上義光歴史館で貴館を知ったのが16時半。せめて外観だけでもと思い寄るとイベントで開いていて喜ばしかった。洋風でとても写真映えする興味深い建築で展示内容も勉強になる点が多く、また来たいと思う。
- ・初めて入り、感動です。
- ・3・4階部分も是非みてみたいと思いました。ステンドグラスの明かりが夜の風景によく映えていて、美しいと思います。また観にきます。
- ・趣のある建物を満喫できました！！ありがとうございました。
- ・素晴らしい建物で、山形市の世界に誇る財産です。大切に保存されることを希望します。昼ともまた別の夜の見学も素敵でした。

②資料・展示について

- ・展示物が多く保管されていてよかった。
- ・山形における医学の歴史の一端を感じることができました。ありがとうございました。
- ・大人になって改めて見学させて頂いて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・見た事ない物ばかりだった。
- ・昔の医療器具などを見て、鉄の器具が多くて今のと比べるとだいぶ負担が大きそうと思いました。今はだいぶ進化していると思いました。
- 2階の古地図はとても興味がわきました。
- ・済生館の歴史、山形の医学の歴史について知ることができる良い企画。時期も良いと感じた。
- ・山形市内に在住していますが、初めて来館しました。とても子供たちがはりきっていました。視力検査が一番もりあがっていました。ライトアップもとてもきれいです。ありがとうございました。
- ・開館時間延長の為、見学できて良かったです。以前から来てみたいと思っていました。

③要望など

- ・非公開の3層以上を定期的に広く市民に公開していただきたい。
- ・3階も行って見たかったです。興味深く拝見しました。
- ・貴重な建物を保存してください。

B 来館者の居住地アンケート調査【R6新規】

（任意で、来館者の方がどちらの地域から訪れたか地図にドットシールを貼っていただき、その数を集計したもの）
 ※調査期間：8月8日～4月17日

県内及び日本地図		人数
	山形県内	347
	山形県外	1605
	世界・アジア・日本	170
	国内合計	2122

アジア及び世界地図		人数
	台湾	218
	中国	111
	アジアその他	142
	アメリカ	57
	ヨーロッパ	102
	その他	100
	海外計	730

新収蔵品展

山形市郷土館（旧済生館本館）



令和7年

7/19 (sat) - 8/31 (sun)

ギャラリートーク開催

7/26 (sat) 14:00-14:30

くさりかたびら

明治時代の医療かばん

昭和の眼科関連資料

... etc



Facebook



Instagram



HP

開館時間 9:00-16:30

会場：山形市郷土館 第7室 山形市霞城町 1-1

主催：山形市 文化スポーツ部 文化創造都市課 文化財係

tel：023-641-1212（内線 626・627）

mail：bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp